

<日本経済新聞12月19日朝刊電子版、最重要情報です>

「今年3月、高校を卒業した人の大学・短大や専門学校・専修学校など高等教育機関への進学率は87.3%(昨年度比3.3%増)で過去最高」

—学校と開倫塾でしっかり勉強し、大学・専門学校など高等教育機関への進学に備えよう！—

開倫塾  
塾長 林明夫

—日本経済新聞 2024年12月19日朝刊—

<見出し>

**大卒就職率76.5%、3年連続で上昇、文科省、今年3月**

- 今年3月に大学を卒業した学生のうち、就職した人の割合は76.5%(45万1794人)と昨年より0.6ポイント増え、3年連続で上昇したことが18日、文部科学省の2024年度学校基本調査(確定値)で分かった。
- 就職以外では、(大学卒業生のうち)大学院などへの進学が、12.6%(7万5344人)で0.1ポイント増、進学も就職もしていない人は7.7%(4万5344人)で0.5ポイント減だった。
- (大学卒業生の)就職者の主な内訳は、正規雇用が4253人増の43万1472人、1年以上の有期雇用は、384人減の1万5512人だった。
- 高校などを卒業した人の大学進学率(浪人生を含む)は、59.4%(昨年度比1.4ポイント増)、短大や専門学校などを含めた高等教育機関への進学率は、87.4%(同3.3ポイント増)で、いずれも過去最高。

Q1: この記事で開倫塾の皆様、注目してもらいたいのは、どこですか。

- A: (1) 2つあります。第一は、大学院などへの進学率が、12.6%であること。  
約8名に1人が、大学院に進学するということです。
- (2) 第二は、高校などを卒業した人の87.3%が大学や短大・専門学校など「高等教育機関」に進学すること。約8名の中で7名が「高等教育機関」に進学するということです。
- (3) ①大学院などに進学する人は、昨年度より0.1ポイントの微増。  
②ですが、大学への進学率は、昨年度より1.4ポイント増の59.1%で、来年春は、60%を超えると予想されます。  
③大学に短大・専門学校・専修学校などを加えた「高等教育機関」への進学率は、今年3月は3.3%増で87.3%でしたので、来年春は、90%を超える可能性があります。
- 高校卒業生の9割(10名中9名)が、高校卒業後、「高等教育機関」に進学する時代が、すでに来ているといことです。この現実を、しっかりご覧になって頂きたいと思います。




Q2: 塾長が、塾生の皆様にお伝えしたいことは何ですか。

- A: (1) ①高校卒業後、10名に9人は大学・短期大学・専門学校・専修学校など、「高等教育機関」に進学なさるといことは、開倫塾の皆様のお大半は、大学などの「高等教育機関」に進学するということです。
- ②開倫塾に在籍する大部分の皆様は、高校卒業後、大学や短期大学・専門学校・専修学校など「高等教育機関」と呼ばれる「最高学府」に進学なさるといことです。
- ③このことを、しっかり「自覚」して、中学卒業後、高校3年間をお過ごしになることをおすすめいたします。
- (2) ①具体的には、大学・短期大学・専門学校・専修学校の教育・研究の内容は、すべて、高等学校で学んだ内容を踏まえて成り立っています。ですから、高校で学ぶ内容をすべて



しっかり「理解」「定着」を身に着けたうえで、進学なさることが求められます。

- ②入学試験の入試科目として課される教科はもちろん、受験教科でない教科も、大学や短期大学、専門学校、専修学校で必要とされます。高校で学ぶ教科はすべて、しっかり高校生として「理解」「定着」を図ることが、求められます。
  - ③大学や専門学校などで必要とされる教科で、中学・高校で学ぶべき内容を「理解」「定着」していない場合は、大学や専門学校の教育や研究についていくことができませんので、もう一度、中学校・高校の内容を自分自身の力で、学び直すことが求められます。親切な大学や専門学校では、「リメディアル教育」といって、中学校や高校の内容で大学や専門学校に必要な内容を指導して下さる場所もありますが、極めてまれです。
    - 中学校や高校の内容は、自分自身で学び直すことが求められます。
- (3)①中学校や高校の内容がよく理解できず、身に着いていないために、大学や専門学校の授業や研究についていけない場合にはどうなるか。  
学期末の「単位認定試験」に合格しない場合には、「再試験」を行う場合もありますが、多くの大学・専門学校では、「再履修」となります。
- ②「再履修」となり、もう一度、同じ教科を1学期間、勉強し直しても、2回目の「単位認定試験」に合格しなければ、「留年」や「退学処分」となります。
  - ③では、どうしたらよいか。高校入試が終わり、高校への入学が決まると、中学時代のような勉強をしない高校生が多いようですが、これでは、高校の内容よりはるかに高度な内容を学ぶ、大学・短期大学・専門学校・専修学校の授業には耐えられません。授業にもついていけず、学期末の「単位認定試験」で合格点を取ることができず、「再履修」「留年」「退学」処分とある運命が待っています。
  - ④是非、開倫塾予備校と開倫塾高校部で、高校の勉強をきっちり行うことをおすすめします。

**Q 3 : ではどうしたらよいとお考えですか。**

- A : (1)高校に入学後も、学校の授業をたいせつにすることです。中学生の時と同じように、普段の授業の、予習・復習を怠らず、定期試験の勉強をしっかりと行い、学校成績(校内順位)アップに励むことが求められます。
- (2)①高校生こそ、「英語検定」「漢字検定」「数学検定」は役に立ちます。
  - ②「3大検定試験」としっかりと向き合い、「学年相応級以上の検定試験合格」を目指し、しっかり実力を身に着けるべきです。
  - ③特に、「英語検定」は、2025年度から、高校2年修了レベルの「英検準2級プラス」がスタートし、とても、取り組みやすくなりました。「3級」「準2級」「準2級プラス」「2級」「準1級」と、自分の実力に合わせて、3～6か月、9か月かけて準備をし、目標を設定し、「英語検定」や「漢字検定」「数学検定」で実力アップをおはかり下さい。
- (3)「3大検定」の結果も、多くの大学、短期大学、専門学校、専修学校の入学の際、評価されますので、入学試験と同じだと考え、高校1年生から、3年間かけ、真剣にお取り組み下さい。

**Q 4 : 中学校や高校の勉強は、大学や短期大学、専門学校、専修学校などで役に立つのですか。**

- A : (1)その通りです。
  - ①小学校の勉強が中学校・高校で役に立ち、小学生の勉強なしでは、中学校での勉強をすすめることが難しいのと全く同じように、中学校・高校での勉強は、大学・短期大学、専門学校、専修学校など高等教育機関ですべて役に立ちます。
  - ②中学校・高校の勉強なしで、大学や専門学校など高等教育機関の勉強は、全く成り立ちません。
  - ③特に、大学や専門学校に進学する直前の高校の勉強は、全教科すべて大切です。

(2)同時に、高校生の中に「予習の仕方」「授業の受け方」「復習の仕方」「定着の仕方」「テストの受け方」「読解力の身に着け方」「辞書、新聞、読書、図書館の活用の仕方」はもちろん「自覚をもって学ぶこと」「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」など「自己学習能力」を育てておくことが大切です。

(3)①最高学府である大学や専門学校では、なかなかこのような「効果の上がる学習方法」は、ていねいに教育してくれないところが多いです。

②小学校や中学校から少しずつ身につけましょう。

③特に、高校入学後は、意識的に自分なりの「効果の上がる学習方法」を開倫塾で身につけてください。

○目指すのは、「学んだことを自分の力でいえる(表現・説明できること)」です。

Q 5 : 高校生になっても開倫塾で学んだ方がいいのですか。

A : もちろんです。

(1)開倫塾には、「開倫塾予備校」という、大学受験専門の予備校があり、毎年、多くの大学受験生が、毎日のように学んでおります。医学部医学科や東京大学・慶應義塾大学・早稲田大学などトップ校・難関校にも毎年のように合格者を輩出しています。



(2)開倫塾の全ての校舎では、高校部を設置。リアルの授業を、オンライン予備校の授業(ブロードバンド予備校)の授業が受講できます。

(3)2025 年度からは、大学入試最大手、東京大学に 1400 名の合格者を輩出する、駿台予備校のオンライン授業が受講できる「駿台ダイバース」を、いくつかの開倫塾の校舎で受講できます。○ぜひ、活用ください。

Q 6 : 最後に一言どうぞ。

A : (1)①勉強は高校入試でおしまいではありません。

②高校入試が終わった直後は、頭がさえわたり、中学の学習内容が全部しっかり入っていますので、高校 1 年の勉強をスタートするに、最も適切です。

③開倫塾で、高校入試が終わった直後から、高 1 準備のプログラムをスタート。ゴールデンウィークが終わるころまでに、高 1 内容の大半を「予習し終える」ことをおすすめいたします。

(2)①開倫塾予備校、開倫塾の全校舎の開倫塾高校部では、高校生のセミナー授業と、高校生の個別指導の授業、さらには、ブロードバンド予備校や駿台ダイバースなど、オンライン授業も受講できます。

②高校の授業の補習、定期試験対策、英語検定はじめ 3 大検定対策、業者模試対策、大学推薦入試対策、大学共通テスト対策、大学独自入試対策など、きめ細かな、高校生の指導を、受講できます。

③空いている机やいすを用いて、夜 10 時 30 分(東京は 10 時)まで、毎日、自学自習を行うことを、高校生にも奨励しています。

(3)開倫塾予備校、開倫塾高校部に高校生になったも通い続け、高校卒業後、大学・短期大学・専門学校・専修学校、さらには、大学院に進学し、思う存分、最高学府である「高等教育機関」での、教育や研究にお励み下さることを、期待いたします。

○開倫塾では、大学などでも役に立つ「効果の上がる学習方法」を小中高生にお伝え続けていますので、御活用ください。目指すは、「予習・授業・復習・定着」などを活用し、「深い理解」つまり、「自分のことばでいえる(表現・説明できること)」です。



がんばってください。